

# 人事行政の運営等の状況を公表します

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成30年度の人事行政

の運営などの状況をお知らせします。なお、給与・職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00~13:00

職員の任免に関する状況

	平成30年度採用	平成30年度退職
一般行政職	6人	6人
医療技術職	3人	3人
看護・保健職	2人	1人
福祉職	0人	0人
技能労務職	0人	0人
合計	11人	10人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (1)安全衛生管理体制

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	3人	5人	1人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (2)職員の健康診断の状況

	対象者数	受診者数
定期健康診断	91人	91人
人間ドック	54人	54人

職員のサービスの状況 年次有給休暇の取得状況(平成30年1月1日~12月31日)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,497日	1,250日	151人	8.3日	22.7%

職員の研修の状況

区分	受講者数
自治研修所派遣研修	8人
市町村総合事務組合研修	3人

職員の分限及び懲戒処分の状況

分限処分者	懲戒処分者
0人	0人

# まちを元気に! 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組み「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、宇山地区担当の加集淳子隊員の活動報告です。

宇山地区担当の加集淳子です。今年の8月で協力隊3年目になりました。協力隊員として最後の稲刈りやサツマイモ・生姜の収穫を終え、今年もサツマイモの加工を始めます。これまでもサツマイモは干し芋に加工し、青空市ぶなの里へ出荷してきました。数があまり作れませんが、見つけて買ってくださったときはぜひ感想を聞かせてください。



収穫したサツマイモを干し芋に加工



町内でのコンサートにも出演しました

頼原ラムネ銀泉では、フロント業務にも慣れ、常連のお客さまにも顔を覚えていただき、今ではお魚やお漬物などをいただけるほどです。10月の金・土曜日限定で、昨年同様りんご温泉を開催しています。「赤来観光りんご園でりんご狩り後、ラムネ銀泉でりんご温泉」と、この機会に秋の飯南町を楽しんでみてください。協力隊員として残り1年をきりました。後悔のないようしっかりと活動していきたいと思えます。



頼原ラムネ銀泉ではりんご温泉を開催中

# 志々地区に地震計を設置

志々地区(さつき会館)に地震計を設置しました。昨年発生した「島根県西部地震」を契機に設置するもので、地震発生時の早期の被害把握、初動体制に万全を期し、住民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指します。このほか町内では役場本庁舎と保健福祉センター付近に、地震計が設置されています。



地震監視中

問合せ  
総務課 電話76・2211

# 令和2年度「母子父子・寡婦福祉資金」貸付の予約受付中

●申込期限 令和2年2月28日(金)  
 ■児童の進学等に関する資金 (貸付はいずれも無利子)  
 ●対象 令和2年4月に進学を希望する人で、母子家庭の母か父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童、寡婦が扶養する子  
 ①修学資金 高等学校、大学、学院、高等専門学校、専修学校の就学に必要な資金(授業料、書籍代、交通費など)  
 ②修業資金 就職に必要な知識技能の習得に必要な資金  
 ③就学支度資金 就学、修業に必要な入学金や被服などの購入資金

■母子家庭の母・父子家庭の父や寡婦の知識技能習得に関する資金 (連帯保証人あり↓無利子、なし↓年1%)  
 ●対象 母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦  
 ①技能習得資金 就職に必要な知識技能の習得に必要な資金

他制度による奨学金の貸与を受けられる人は、児童の進学等を対象とする資金の対象となりません。必要書類等の詳細はお問い合わせください。  
 ■問合せ  
福祉事務所 電話72・1773

# カーブミラー 9/20金 寄贈

島根県農業協同組合雲南地区本部から、カーブミラー2本の寄贈を受けました。島根県農業協同組合では、交通事故のないまちづくりに寄与するため、交通事故防止機器を寄贈する取り組みを、長年にわたって行っております。カーブミラーは町内に順次設置し、交通事故防止に役立てていきます。

# チャイルドシート 9/30月 寄贈



チャイルドシートを手渡した難波頼孝さん(左)和田幹雄さん(中央)

雲南地区交通安全協会飯南支部から、新生児から4歳まで対応できるチャイルドシート4基の寄贈を受けました。支部長の和田幹雄さんは「若い命の保護と交通事故被害の軽減、チャイルドシートの正しい着用の徹底を推進するため、チャイルドシートを寄贈させていただきました。また町では、子育てしやすい環境づくりにも力を注いでおられます。積極的な活用をお願いしたい」と伝えられました。

町では、子育て世代の負担軽減を目的にチャイルドシートを無償で貸し出しています。  
■問合せ  
住民課 電話76・2213



目録を手渡した吾郷浩雲南地区本部金融共済部長(右)